

# 芝浦工業大学のAP取組みと LINEを利用した学修時間可視化の試み

芝浦工業大学

アクティブ・ラーニング&amp;アセスメント・オフィス

## 1 はじめに

芝浦工業大学は、テーマI「アクティブ・ラーニング」およびテーマII「学修成果の可視化」の複合型に取組んだ。本学では建学の精神のもとに、「統合的問題解決能力を備えた世界（社会）に貢献できる技術者の育成」を教育目標と定め、学生の主体的な学びを促し、学修成果の可視化のため、以下の取組みを行った。

- 1) 4年間の体系的・組織的なアクティブ・ラーニング改革
- 2) 学修成果の可視化と学生の学修時間のPDCAサイクルによる保証
- 3) 教育改革の推進体制の強化（教職学協働）

上記の1)～3)の各実施項目について様々な改革を進め、多くの成果を出してきた。本報告では、この内、2)の概要と近年開始した「LINEを利用した学修時間可視化の試み」に関し報告する。

## 2 学修成果の可視化と学修時間の保証の概要

学修成果の可視化と学修時間の保証として、Webシラバス設計を見直し、授業外学修時間の入力チェック機能を設け、各回の授業外学修内容と標準学修時間を設定する仕組みを設けた。また、学修マネジメントシステム（LMS）と連携したポートフォリオシステムを構築し、学生が学修成果を容易に確認できる仕組みを導入した。ポートフォリオは、学修ポートフォリオ、語学ポートフォリオおよびキャリアポートフォリオから構成され、ダッシュボード上で一覧できるようになっている。学修ポートフォリオには、学生の閲覧率が高いS\*gsot（教務データシステム）が組み込んであり、学修時間を登録できる機能も追加してある。また、ダッシュボードはスマートフォンでも利用可能であり、これにより、ポートフォリオの利用率が高まった。

## 3 LINE を利用した学修時間可視化の試み

本学では、学生の学修時間の可視化として、ポートフォリオ、授業自己評価アンケート、学修行動調査など様々な方法を実施している。ここで、学生からの要望で、スマートフォンを用いてより簡単に自身の学修行動を記録・把握できれば、より効果的な時間の使い方ができるという意見を受けて、LINEを利用した学修時間可視化の試みを2018年度より開始した。

まず、学生は授業時間以外で行動（勉強、予習、復習、研究、調査、打合わせ、バイト、など）をしたら、その行動と時間をLINEから記録できる。記録方法は、ボタンでの入力あるいは音声による入力の2種類用意した。入力された行動は、学生自身のGoogleカレンダーに記録される。Googleカレンダーとポートフォリオのダッシュボードはリンクされており、グラフ化されて自身の行動履歴がスマートフォンで確認できる。Google カレンダーで行動記録や時間の修正も可能であり、修正を行うと、ポートフォリオのダッシュボードデータも自動修正される。本システムは、単なる学修記録に留まらず、詳細の箇所は何をしたのか書いておく実験・研究ノートのように使えるので便利であるとの学生からの評価を受けている。

学生に身近なLINEアプリを用いることで、学生が負担を感じることなく学修時間の記録が可能になった。さらに、学生へLINEアプリから入力を促す通知機能との連携や、ポートフォリオを活用した振り返りの促進が期待できる。なお、LINEアプリは本学が独自で開発したものである。